

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野Ⅱ	精神看護学 援助論	1	30	2年次	4月	山下 建昭
授業概要 現代社会の変化は人々に様々なストレスを与え、新しいタイプの精神障害も多くなっており、看護を行なう上ではその十分な理解が求められる。そこで精神障害に特徴的な症状や疾患の病態と治療について理解させることをねらいとする。						
到達目標 1. 主な精神症状及び精神障害について診断・治療について理解できる。						
使用教材 テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 (医学書院) 参考文献等：						
評価 筆記試験						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
6時間・3回	1. 精神障害の理解 1)精神医療の歴史 2)精神障害者の現状 3)精神疾患と捉え方 4)精神障害の原因・分類					講義
4時間・2回	2. 精神症状の理解 1)思考の障害 2)感情の障害 3)意欲の障害 4)意識の障害 5)記憶の障害 6)局在症状					講義
5時間・3回	3. 精神疾患／障害の診断と分類 1)精神疾患の分類：内因・外因・心因 2)アメリカ精神医学会の診断・統計マニュアル (DSM) 3)国際疾病分類 (ICD) 4.検査 1)一般検査 2)画像検査：脳波 3)心理検査：知能検査、発達検査、人格検査、認知機能検査 4)脳脊髄液検査)					講義
4時間・2回	5.精神科における治療 1)薬物療法 2)電機けいれん療法 (ECT) 3)精神療法 (1)個人療法 (2)集団療法 (3)家族療法 4)環境療法・社会療法 (1)作業療法 (2)精神科リハビリテーション					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野Ⅱ	精神看護学 援助論	1	30	2年次	4月	山下 建昭
時間・回数	授業内容					方法
10時間・5回	<p>6. 主な精神疾患・障害の理解</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 器質性精神障害 2) 精神作用物質使用による精神・行動の障害：アルコール症 3) 統合失調症・統合失調型障害及び妄想性障害 4) 気分＜感情＞障害 5) 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害 <ol style="list-style-type: none"> (1)恐怖症性不安障害 (2)強迫性障害 (OCD) (3)重度ストレス反応及び適応障害 (4)解離性障害 (5)身体表現性障害 6) 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 <ol style="list-style-type: none"> (1)摂食障害 (2)睡眠障害 (3)性機能不全、性同一性障害 7) パーソナリティー障害 8) 秩序破壊的・衝動制御・素行障害群 <p>7. 神経発達障害</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)知的能力障害／知的発達障害 (DSM) 2)自閉症スペクトラム障害 3)注意欠如・多動性障害 (ADHD) 4)限局的学習障害 					講義
1時間・1回	筆記試験					
備考						